

作成日：令和 2 年 1 2 月 1 5 日

事業所の位置する小学校区の児童数等

本書類では、広島県や教育委員会の資料から、県内の特別支援学級や通級による支援を受けている児童数や福山市の放課後等デイサービスの見込み量の推移を確認し、周辺の小学校の情報と事業所をまとめております。また本事業所へのニーズと利用者確保の方策についても記載をしております。詳細は以下のとおりです。

＜広島県の公立小・中学校の特別支援学級や通級による支援を受けている児童の推移＞

| | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|--------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 特別支援学級の在籍者数 | 4,672 | 5,096 | 5,579 | 6,104 | 6,659 |
| 通級による指導を受けている児童生徒数 | 1,414 | 1,501 | 1,696 | 1,842 | 2,120 |

「平成 31 年教育支援ガイドブック」より

上記の表より、特別支援学級や通級による支援を受けている児童の数が年々上昇していることがわかります。

＜障害福祉サービス等の見込量等＞

表 1 第 4 期広島県障害福祉計画の実施状況 児童福祉サービス

| | 項 目 | 単位 | H29 年度見込量 | H28 年度実績 | 見込量との対比 |
|---|------------|------|-----------|----------|---------|
| 2 | 放課後等デイサービス | 人日/月 | 45,878 | 58,447 | 127.4% |
| | | 人/月 | 5,297 | 6,006 | 113.4% |

表 2 第 4 期広島県障害福祉計画の実施状況 児童福祉サービスの圏域別利用状況

| | サービス種別 | 単位 | 区分 | 障害保健福祉圏域 | | | | | | 計 | |
|---|------------|---------|---------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | 広島 | 広島西 | 呉 | 広島中央 | 尾三 | 福山・府中 | | 備北 |
| 2 | 放課後等デイサービス | 人日/月 | H25 | 16,216 | 1,604 | 2,016 | 1,085 | 1,336 | 2,847 | 348 | 25,452 |
| | | | H28 | 33,543 | 3,433 | 4,313 | 3,142 | 2,497 | 10,932 | 587 | 58,447 |
| | | | H29 見込 | 31,682 | 2,283 | 3,044 | 1,279 | 1,964 | 5,153 | 473 | 45,878 |
| | | | H28/H29 | 105.9% | 150.4% | 141.7% | 245.7% | 127.1% | 212.1% | 124.1% | 127.4% |
| | 人/月 | H25 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | | H28 | 2,715 | 366 | 447 | 755 | 423 | 1,242 | 58 | 6,006 | |
| | | H29 見込 | 3,052 | 359 | 422 | 412 | 261 | 726 | 65 | 5,297 | |
| | | H28/H29 | 89.0% | 101.9% | 105.9% | 183.3% | 162.1% | 171.1% | 89.2% | 113.4% | |

表3 放課後等デイサービスの見込量（福山・府中圏域）

| 区 域 | 平成 28 年度実績 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 福山・府中圏域 | 10,932 人日/月 | 14,299 人日/月 | 15,589 人日/月 | 16,921 人日/月 |
| | 1,242 人/月 | 1,656 人 /月 | 1,802 人 /月 | 1,952 人 /月 |
| 福山市 | 9,918 人日/月 | 13,087 人日/月 | 14,148 人日/月 | 15,208 人日/月 |
| | 1,148 人/月 | 1,543 人 /月 | 1,668 人 /月 | 1,793 人 /月 |
| 府中市 | 981 人日/月 | 1,177 人日/月 | 1,406 人日/月 | 1,678 人日/月 |
| | 90 人/月 | 108 人 /月 | 129 人 /月 | 154 人 /月 |
| 神石高原町 | 33 人日/月 | 35 人日/月 | 35 人日/月 | 35 人日/月 |
| | 4 人/月 | 5 人 /月 | 5 人 /月 | 5 人 /月 |

「第5期広島県障害福祉計画・第1期広島県障害児福祉計画」より

上記の表1から表3は広島県が策定した「第5期広島県障害福祉計画・第1期広島県障害児福祉計画」（平成30年作成）の資料であり、表1と表2内のH29年見込み数は第4期広島県障害福祉計画（平成27年作成時）でのH29年の見込み数で、「第5期広島県障害福祉計画・第1期広島県障害児福祉計画」はそれに対するH28年実績の対比です。

表1を見ると広島県全体の放課後等デイサービスの第4期広島県障害福祉計画（平成27年作成時）でのH29年の見込量に対するH28年度実績には127%の増加対比があります。

また、表2の「H29年度の見込量とH28年度の実績の増加対比」は福山・府中圏域が212%と県全体で広島中央に次いで2番目に多い数であり、さらに表3からは、福山市が福山・府中圏域の実績の内90%を占めており、福山市における放課後等デイサービスの需要を示しています。

<周辺の小学校の情報>

| 小学校 | 特別支援学級生徒数 | 全生徒数 | 実学級数 | 特別支援学級数 |
|------|-----------|------|------|---------|
| 光小 | 28 | 386 | 12 | 6 |
| 多治米小 | 42 | 462 | 14 | 6 |
| 曙小 | 37 | 457 | 13 | 5 |
| 川口小 | 28 | 595 | 18 | 5 |
| 川口東小 | 35 | 382 | 12 | 5 |
| 新涯小 | 56 | 869 | 25 | 9 |
| 水呑小 | 26 | 772 | 23 | 4 |

「福山市教育委員会（令和元年5月1日）」より

<周辺の事業所>

多治米町には放課後等デイサービスはありませんが、周辺の放課後等デイサービス事業所は以下のとおりです。

| | | |
|-----------------------------|--------|----------------------|
| 児童発達支援・放課後等デイサービス じゃんぐる ぶらは | 定員 10名 | 福山市曙町 5 丁目 1 番 21 号 |
| 放課後等デイサービス 未起 | 定員 10名 | 福山市曙町 3 丁目 29 番 28 号 |
| ハッピーテラス 沖野上教室 | 定員 10名 | 福山市沖野上町六丁目 9 番 24 号 |
| 放課後等デイサービス ONE-すてっぷ | 定員 20名 | 福山市卸町 11 番 5 号 |
| 放課後等デイサービス ふぁんたす | 定員 10名 | 福山市卸町 11 番 4 号 |
| 放課後等デイサービス LINK PLUS | 定員 10名 | 福山市川口町 2-6-29 |
| 放課後等デイサービス ウィズ福山川口 | 定員 10名 | 福山市川口町 1 丁目 9-3 |
| 放課後等デイサービス ウィズ福山新涯 | 定員 10名 | 福山市新涯町 4 丁目 7-13 |

<ニーズ>

就労準備性を高めるための様々な内容のプログラムを用意しています。事務仕事で用いる Microsoft Office (Word,Excel,PowerPoint)、DTP や WEB 制作に必要とされる Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、プログラミングスキルについては Scratch や Minecraft、飲食店経営経験者 (指導員) による料理イベント等、仕事の疑似体験になる機会を提供する予定です。

福山地区放課後等デイサービス連絡協議会の放課後デイサービス事業所ガイドに記載された上記の周辺事業所のサービス内容と特色を踏まえて、本事業所のプログラムは他事業所と異なる特徴になりうると考えます。そして、近辺だけでなくそれ以外の地域の児童・生徒、保護者にも利用したいと思って頂けるサービス内容を常に準備し、情報を発信し、時代の変化に応じて日々さらに更新していきます。

<利用者確保の方策>

指定日が確定した段階から、ホームページを開設し、ブログや SNS 等を活用し、情報発信をしていきます。また、近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校、相談支援事業所へ広報活動を行い、サービスの内容や対象となる利用者等を知って頂き、支援の選択肢のひとつとして認知して頂ける状態を目指します。代表が他事業所との係わりがあることから、弊事業所のサービスと利用者のニーズが合致する場合や利用予定者数定員が超過する場合などに紹介をして頂けるよう連携していく予定です。